

2024年1月5日付 日刊産業新聞
～辰年生まれの鉄鋼人～



ステントス社長

山本 泰徳氏

鉄骨製作業界より良く

社長に就任して20年、「あつという間だった」と振り返る。年男を迎えた今年の目標は肉體改造。「食生活の見直しやウォーキングを続け、1年間で10kg減量する。30代の体に戻し、ツイケオジ」を目指す」と笑みを見せる。

29歳で広島市のHグレード鉄骨ファブリケーター、ステントス（旧山本鉄工所）に入社し、家業を継いだ。39歳で社長に就き、49歳からは広島県鉄構

工業会の理事長を務める。

理事長としてこれまで、公共工事における積算見積もりの有料化などを推し進めてきた。同会の一連の活動は「広島県方式」と呼ばれ、全国各団体の活動の参考にされることも多い。業界の将来を担う後継者の育成にも力を入れており、積極的な活動を続ける青年部の活動支援も継続している。

鉄骨製作業界をより良い業界にしていきたいという思いは強く、今後も「国内の業界に残る古い習慣などを打破しながら、近年の技術の進化に合った、令和でも通用する業界の実現に貢献していきたい」。(64年12月14日生まれ、広島県出身)



14年5月、理事長就任後に湯崎英彦広島県知事を表敬訪問した(左から2人が本人、中央が湯崎知事)